

NEWS LETTER(調査レポート)

報道関係各位

ビジネスパーソンの旅のテクニックに関する調査2015**やってみたい、使わないと損だ、流行りそうだと思う旅テクとは？**

モバイルリサーチ(<http://www.mobile-research.jp/>)を展開するネットエイジア株式会社(<http://www.netasia.co.jp/>)(本社:東京都中央区、代表取締役:三清 慎一郎、以下ネットエイジア)は、2015年6月27日~6月30日の4日間、「ビジネスパーソンの旅のテクニックに関する調査2015」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)により実施し、全国の30歳~59歳のビジネスパーソン2,000名の回答を集計いたしました。

今後もネットエイジアでは、世の中の関心が高いテーマの調査、今後のトレンドを占える調査など、マーケティングシーンで役立つさまざまな情報をモバイルリサーチによりタイムリーに提供してまいります。

Index**《旅行計画編:この夏の旅行計画 予算は?》……P.2-3**

- ・今年の夏旅 行き先ランキング 1位「北海道」、今年は「北陸」が躍進!
- ・消費の回復はまだ先? 今年の夏旅予算は 66,700 円、昨年より 2,600 円下降

《旅行テクニック編:やってみたい旅テク、使わないと損な旅テク、パートナーとの旅で NG な旅テク》

……P.4-8

- ・“やってみたい”旅テク 今年も 1 位は「ネット割」
- ・“使わないと損だ”と思う旅テク 「ネット割」「バーゲン・セール」に続いたのは「マイルを特典航空券に交換」
特典航空券の取りやすさ 2年連続 JAL が ANA を上回る
- ・“今後流行りそうだ”と思う旅テク 今話題の「ふるさと旅行券」が 3 位に!
- ・“パートナーとの旅行ではゴメンだ”と思う旅テク 今年も 1 位は「マン喫・ネットカフェで一夜」
- ・パートナーとの旅行でドン引きした体験とは? 男性は「自分では決めず文句」、女性は「行き当たりハタリ」
- ・パートナーとの旅行でのケンカ原因 1 位は「相手のテンションの低さ」

調査概要・回答者属性……p.9

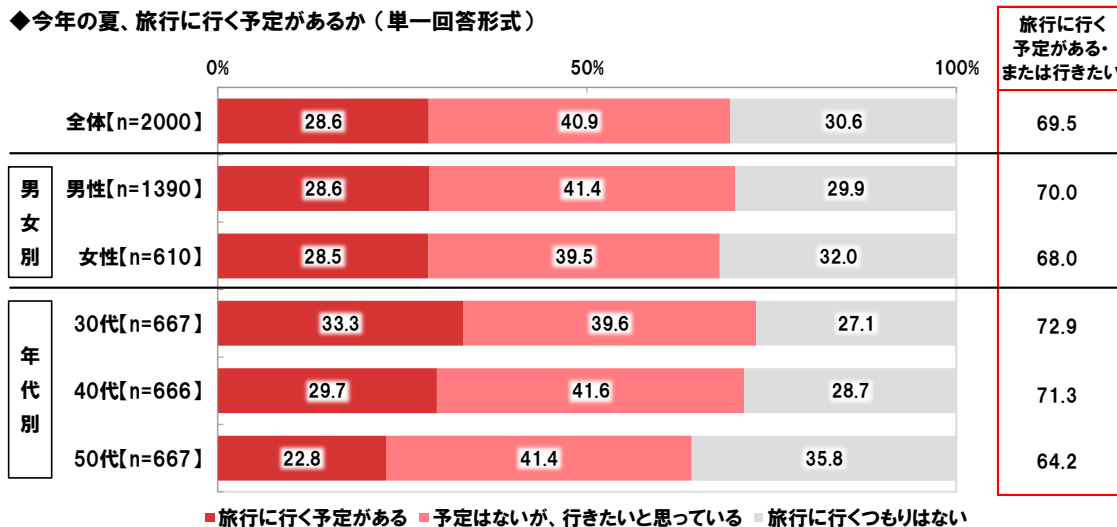
NEWS LETTER(調査レポート)

《旅行計画編:この夏の旅行計画 予算は?》

◆今年の夏旅 行き先ランキング 1位「北海道」、今年は「北陸」が躍進!

全国の30歳～59歳のビジネスパーソン2,000名(全回答者)に対し、今年の夏、旅行に行く予定があるか聞いたところ、「旅行に行く予定がある」は28.6%、「予定はないが、行きたいと思っている」は40.9%で、旅行に行く予定がある・または行きたいと思っているビジネスパーソンの割合は69.5%となった。

◆今年の夏、旅行に行く予定があるか(単一回答形式)



次に、旅行に行く予定がある・または行きたいビジネスパーソン1389名に対し、行く予定・または行きたい旅行先を聞いたところ、最も多かったのは「北海道」(28.9%)、次いで、「関東」(27.2%)、「近畿」(18.9%)、「九州」(15.5%)、「沖縄」(13.6%)が続いた。

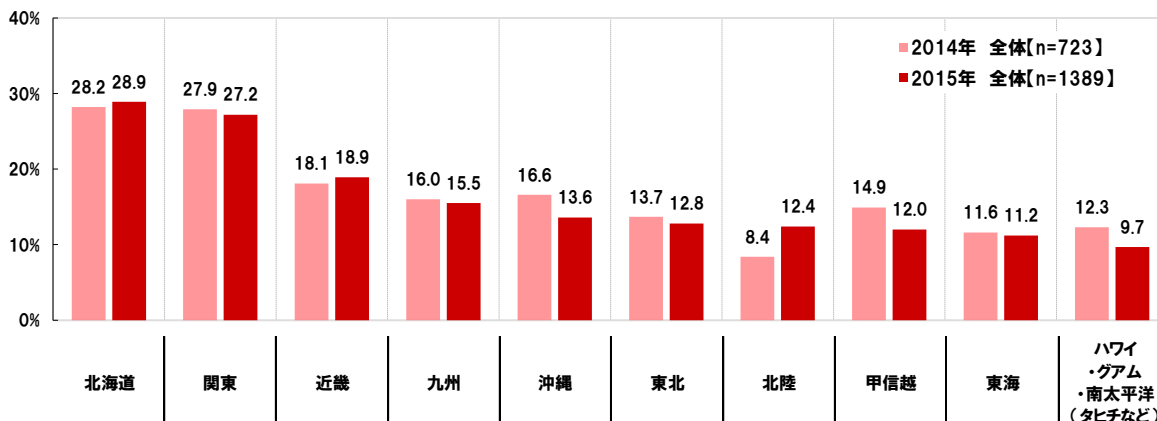
また、昨年調査(※)と比較をすると、新幹線が開業した「北陸」が、昨年の8.4%から今年は12.4%と4.0ポイント上昇した。

※2014年7月発表 ビジネスパーソンの旅のテクニックに関する調査

http://www.mobile-research.jp/investigation/research_date_140722.html

◆行く予定・または行きたい旅行先(複数回答形式) ※上位10位までを表示

※対象:旅行に行く予定がある・または行きたい人



NEWS LETTER(調査レポート)

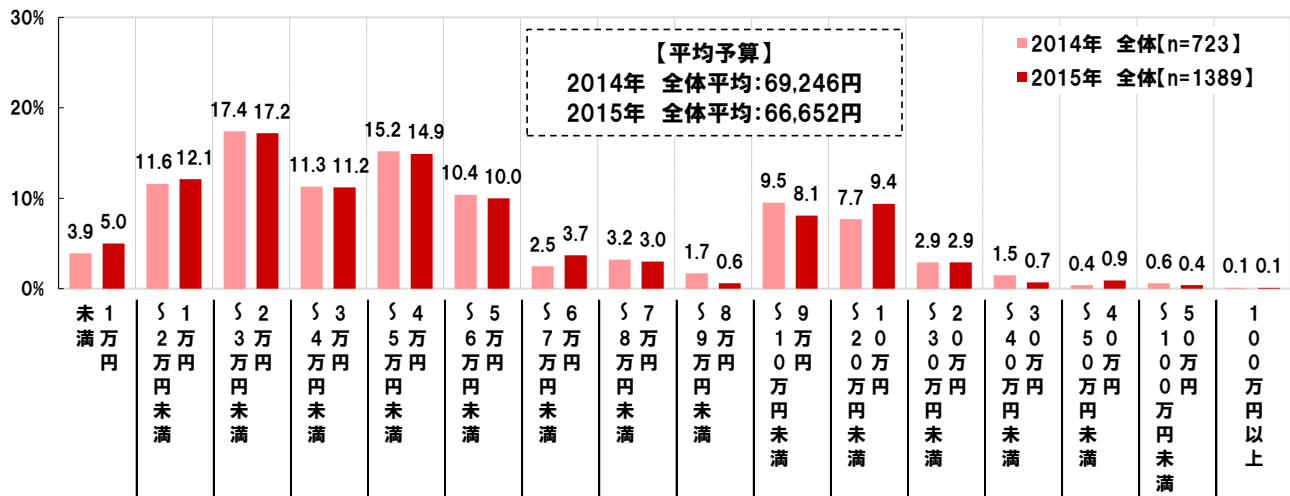
◆消費の回復はまだ先？ 今年の夏旅予算は 66,700 円、昨年より 2,600 円下降

さらに、旅行に行く予定がある・または行きたいビジネスパーソン 1389 名に、今年の夏の旅行は、一人あたりいくらかの予算を考えているか聞いたところ、「2 万円～3 万円未満」との回答が最も多く 17.2%、次いで、「4 万円～5 万円未満」が 14.9%で続いた。また、「9 万円～10 万円未満」(8.1%)、「10 万円～20 万円未満」(9.4%)といった金額帯も 1 割近くで、一人あたりの予算の平均額は 66,652 円だった。

昨年の調査と平均額を比較すると、昨年は 69,246 円となっており、今年平均額は昨年より 2,594 円低い結果となった。

◆今年の夏の旅行は、一人あたりいくらかの予算を考えているか（単一回答形式）

※対象：旅行に行く予定がある・または行きたい人



NEWS LETTER(調査レポート)

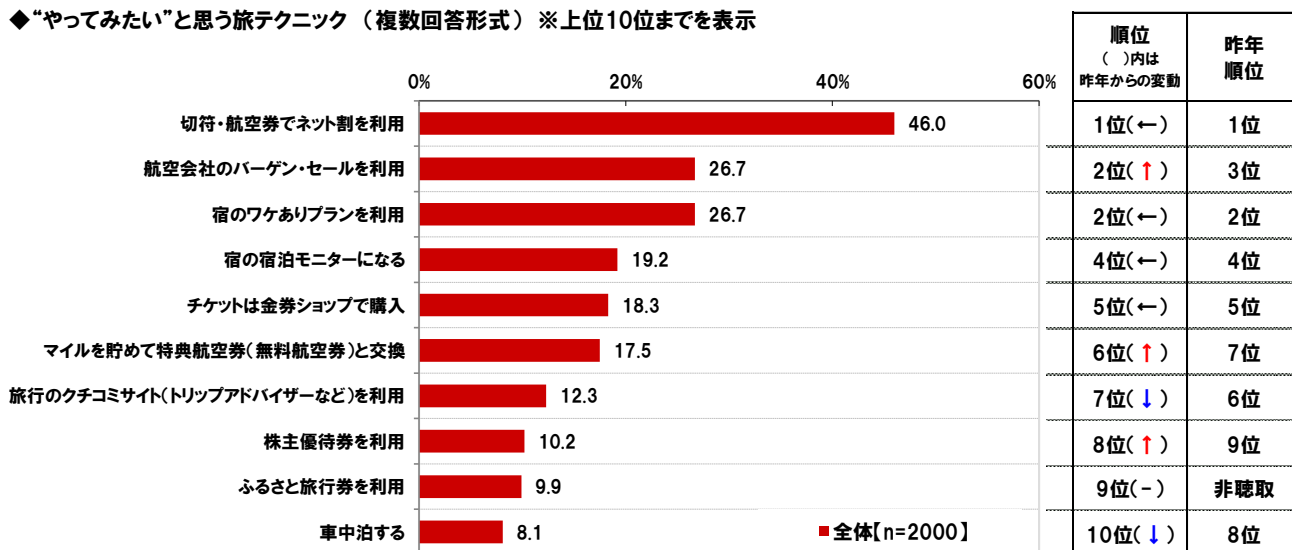
《旅行テクニック編: やってみたい旅テク、使わないと損な旅テク、パートナーとの旅でNGな旅テク》

◆“やってみたい”旅テク 今年も1位は「ネット割」

全回答者(2,000名)に、「“やってみたい”と思う旅テクニック」を聞いたところ、1位は「切符・航空券でネット割を利用」(46.0%)で、昨年に続いての1位となり、2位「航空会社のバーゲン・セールを利用」と「宿のワケありプランを利用」(いずれも26.7%)、4位「宿の宿泊モニターになる」(19.2%)、5位「チケットは金券ショップで購入」(18.3%)が続いた。

また、今話題の「ふるさと旅行券」は9.9%と1割がやってみたい旅テクに挙げ、9位にランクインした。

◆“やってみたい”と思う旅テクニック（複数回答形式）※上位10位までを表示



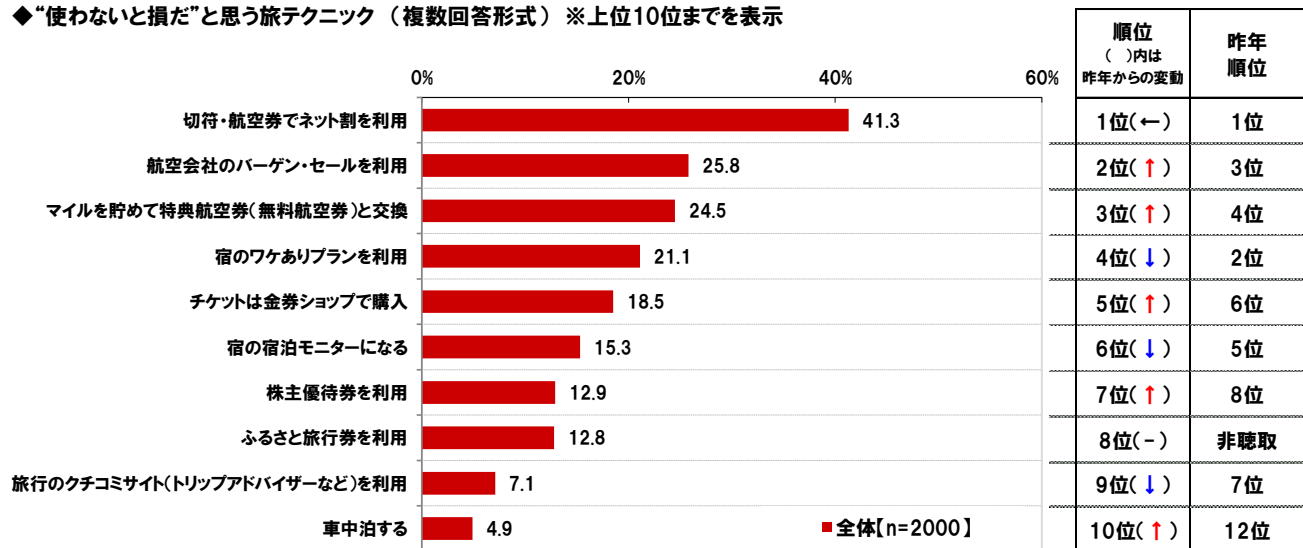
NEWS LETTER(調査レポート)

◆“使わないと損だ”と思う旅テク「ネット割」「バーゲン・セール」に続いたのは「マイルを特典航空券に交換」 特典航空券の取りやすさ 2年連続 JAL が ANA を上回る

次に、全回答者(2,000名)に、「使わないと損だ」と思う旅テクニックを聞いたところ、1位は「切符・航空券でネット割を利用」(41.3%)、2位「航空会社のバーゲン・セールを利用」(25.8%)、3位「マイルを貯めて特典航空券(無料航空券)と交換」(24.5%)、4位「宿のワケありプランを利用」(21.1%)、5位「チケットは金券ショップで購入」(18.5%)となった。

昨年の結果と順位を比べると、2位の「航空会社のバーゲン・セールを利用」(昨年3位)と3位の「マイルを貯めて特典航空券(無料航空券)と交換」(昨年4位)は、昨年より順位を1つずつ上げる形となった。

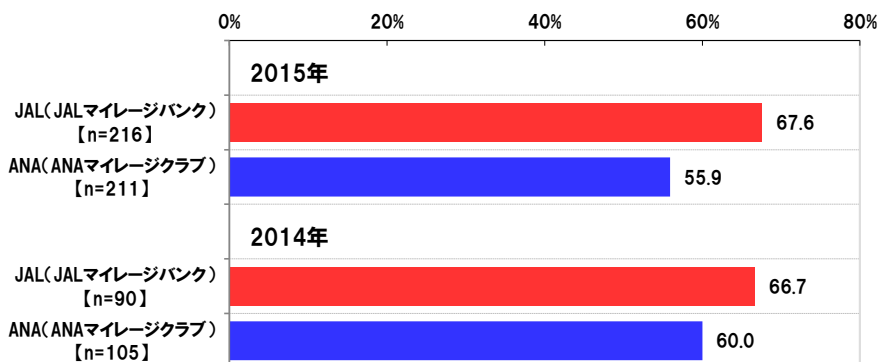
◆“使わないと損だ”と思う旅テクニック（複数回答形式） ※上位10位までを表示



「航空会社のバーゲン・セールを利用」とともに「マイルを貯めて特典航空券(無料航空券)と交換」の順位が昨年より上がっていたが、特典航空券が取りやすいのはどの航空会社なのだろうか。

特典航空券に交換したことがあるビジネスパーソンの評価をみると、「特典航空券(無料航空券)が取りやすい(予約しやすい)と思う」は「JAL」では 67.6%、「ANA」では 55.9%と、昨年(「JAL」66.7%、「ANA」60.0%)に続き今年も JAL が ANA を上回る結果となった。

◆特典航空券(無料航空券)が取りやすい(予約しやすい)と思う割合 ※それぞれの航空会社での交換経験者がベース



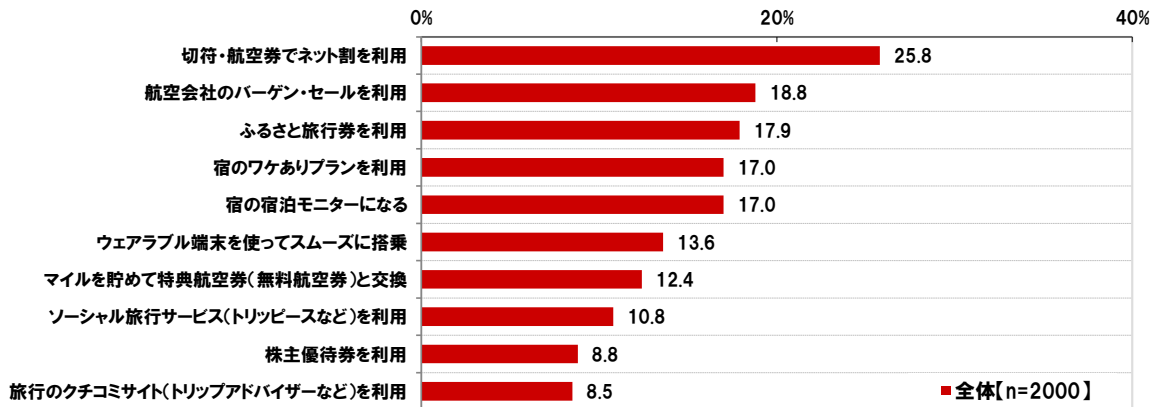
NEWS LETTER(調査レポート)

◆“今後流行しそうだ”と思う旅テク 今話題の「ふるさと旅行券」が3位に！

また、「今後流行しそうだ」と思う旅テクニックを聞いたところ、1位「切符・航空券でネット割を利用」(25.8%)、2位「航空会社のバーゲン・セールを利用」(18.8%)となり、続く3位に、今話題の「ふるさと旅行券を利用」(17.9%)がランクインした。

また、最近では、ウェアラブル端末に搭乗用のQRコードを表示させれば、それを保安検査場や搭乗口のリーダーにかざし手続きができるようになっているが、「ウェアラブル端末を使ってスムーズに搭乗」(13.6%)は6位だった。

◆“今後流行しそうだ”と思う旅テクニック（複数回答形式） ※上位10位までを表示



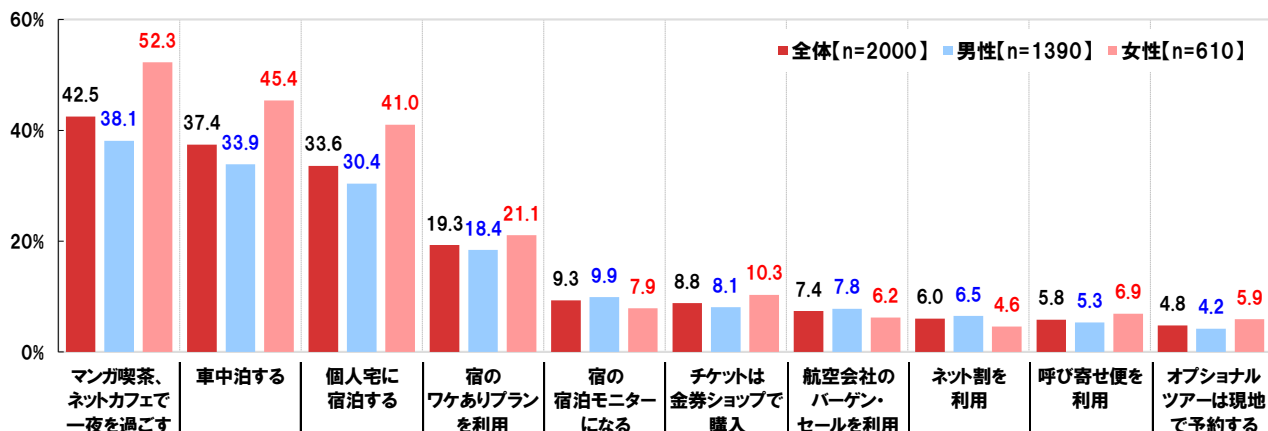
◆“パートナーとの旅行ではゴメンだ”と思う旅テク 今年も1位は「マンガ喫茶・ネットカフェで一夜」

さらに、「パートナーとの旅行ではゴメンだ」と思う旅テクニックを聞いたところ、今年も1位は「マンガ喫茶、ネットカフェで一夜を過ごす」(42.5%)となり、2位「車中泊する」(37.4%)、3位「個人宅に宿泊する」(33.6%)、4位「宿のワケありプランを利用」(19.3%)、5位「宿の宿泊モニターになる」(9.3%)と、宿泊費を節約するための旅テクが上位5項目を占めた。

男女別にみると、1位から3位までは、特に女性で高く、その中でも「マンガ喫茶、ネットカフェで一夜を過ごす」は52.3%と半数以上になった。旅行予算を節約する場合でも、宿泊費の節約には慎重になったほうがよいのではないだろうか。

◆“パートナー(恋人や配偶者)との旅行ではゴメンだ”と思う旅テクニック（複数回答形式）

※上位10位までを表示



NEWS LETTER(調査レポート)

◆パートナーとの旅行でドン引きした体験とは？ 男性は「自分では決めず文句」、女性は「行き当たりバッタリ」

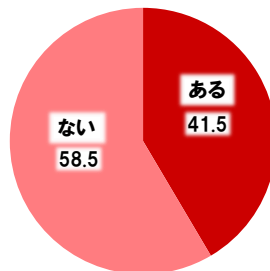
パートナーとの旅行ではゴメンだと思ふ旅テクからは、宿泊費の節約方法には注意が必要なおことが明らかになったが、旅行中の行動では、どのようなことに気がつけたほうがよいのだろうか。

全回答者(2,000名)に、パートナーとの旅行でドン引きしたことがあるか聞いたところ、ドン引きをしたことがあるビジネスパーソンの割合は41.5%となった。

それでは、パートナーのどのような行動にドン引きしたのだろうか。パートナーとの旅行でドン引きしたことがある831名の回答をみると、「自分では何も決めなくせに文句ばかり言われた」32.5%が最も多く、次いで、「行き当たりバッタリで無計画だった」26.4%、「ひとりでどんどん動き回り、一緒に旅行した意味がなかった」17.0%、「長い距離を歩かされた」14.9%、「宿泊先で服や荷物、寝具を散らかしていた」12.4%が続いた。旅行でパートナーとの関係をギクシャクさせないためには、「事前の計画」や「相手を思いやること」、「だらしなくしないこと」が大切なのかもしれない。

男女別にみると、男性の1位は「自分では何も決めなくせに文句ばかり言われた」(33.7%)、女性の1位は「行き当たりバッタリで無計画だった」(34.6%)となった。また、「ひとりでどんどん動き回り、一緒に旅行した意味がなかった」(男性10.8%、女性27.2%)や「旅行先のお店や宿泊先のスタッフに対する態度が横柄だった」(男性7.9%、女性17.9%)、「旅行先での食事や買い物でケチっていた」(男性5.0%、女性16.0%)では男性より女性のほうが10ポイント以上高くなった。パートナーの“自分勝手な行動”や“横柄な態度”、“ケチな行動”にドン引きしているのは男性より女性のようだ。他方、「宿泊先のアメニティを持ち帰ろうとした」(男性13.9%、女性5.1%)は、男性のほうが10ポイント近く高くなった。

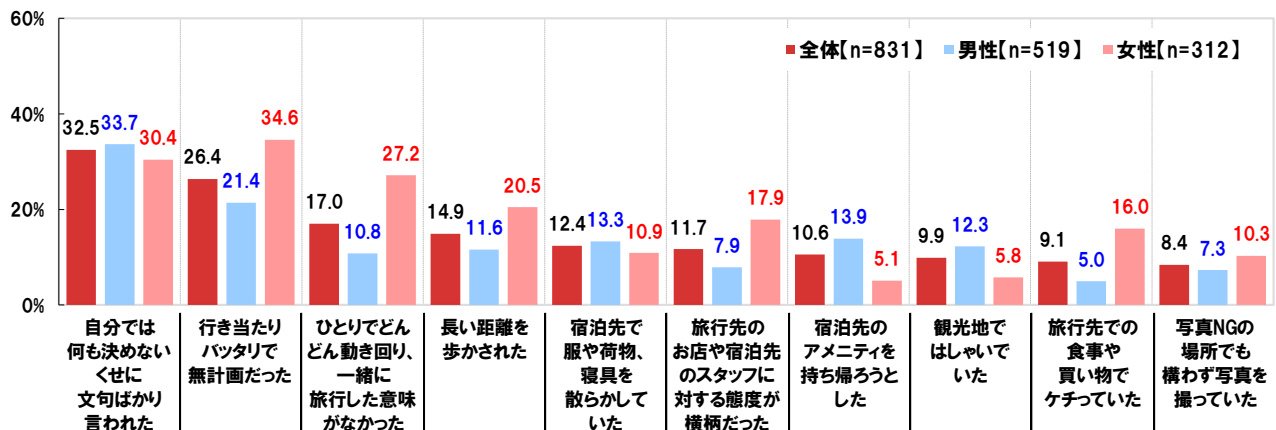
◆パートナーとの旅行でドン引きしたことがあるか 全体[n=2000]



◆パートナー(恋人や配偶者)との旅行で、ドン引きしたこと(複数回答形式)

対象:パートナー(恋人や配偶者)との旅行で、ドン引きしたことがある人

※上位10位までを表示



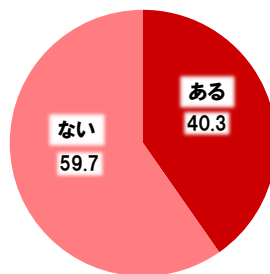
NEWS LETTER(調査レポート)

◆パートナーとの旅行でのケンカ原因 1位は「相手のテンションの低さ」

パートナーとの旅行でのドン引き経験についてみてきたが、全回答者(2,000名)に、パートナーとの旅行でのケンカについても聞いたところ、ケンカをしたことがあるビジネスパーソンの割合は40.3%だった。

次に、パートナーとの旅行でケンカをしたことがある807名に、どのようなことでケンカになったか聞いたところ、最も多かったのは「せっかくの旅行なのに相手のテンションが低くケンカ」24.0%、次いで、「食事場所についてケンカ」20.1%、「行きたい観光スポットについてケンカ」17.8%、「旅行先で『疲れた』を連呼されケンカ」17.6%、「交通機関のトラブルに巻き込まれイライラしてケンカ」14.3%が続いた。食事場所や行きたい観光スポットについてのケンカが2位、3位となり、また、ドン引きした経験でも旅行計画が無計画だったことが上位となっていた。個人の旅行であれば無計画な旅行も楽しめることもあるかもしれないが、パートナーとの旅行では、事前にしっかりと計画することが必要だとあらためて感じられる結果となった。旅行前にふたりで計画を立てれば、旅行での揉め事も減り、また、旅行前から絆を深めることも期待でき、一石二鳥なのではないだろうか。

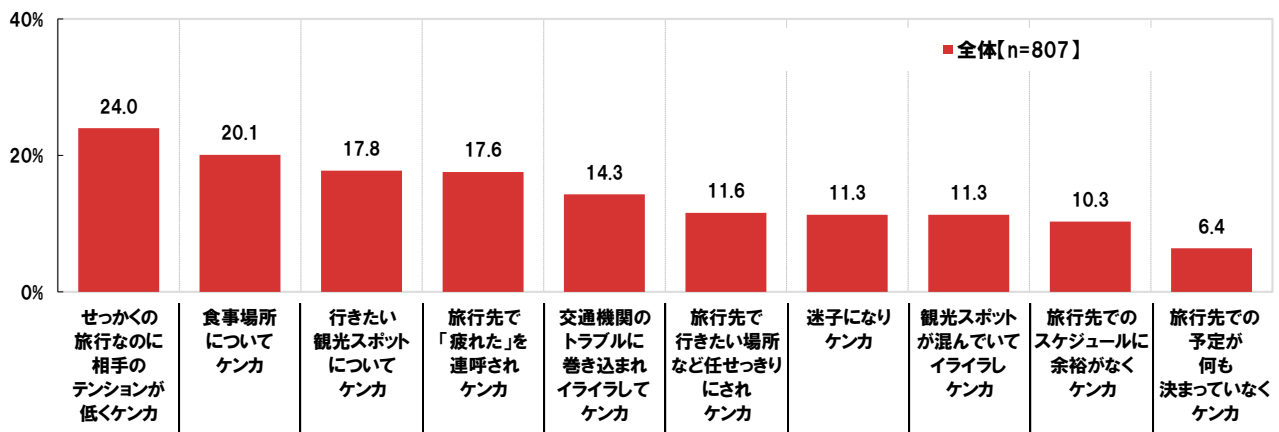
◆パートナーとの旅行でケンカをしたことがあるか 全体[n=2000]



◆パートナー(恋人や配偶者)との旅行での、ケンカの内容(複数回答形式)

対象: パートナー(恋人や配偶者)との旅行で、ケンカをしたことがある人

※上位10位までを表示



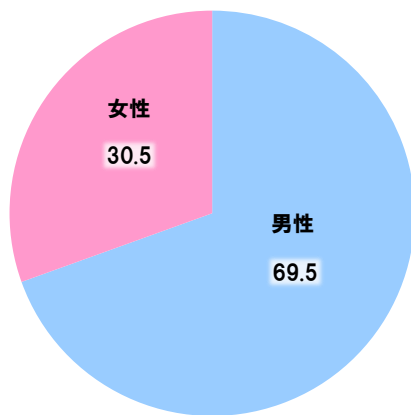
NEWS LETTER(調査レポート)

◆調査概要◆

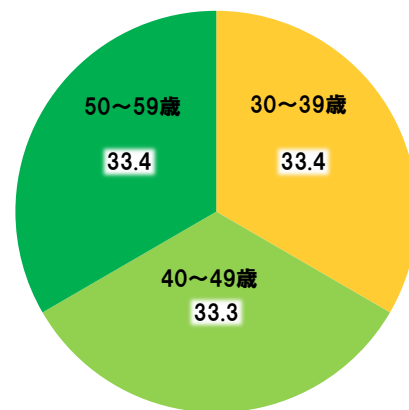
- ◆調査タイトル : ビジネスパーソンの旅のテクニックに関する調査2015
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする
30歳～59歳のビジネスパーソン(アルバイト・パートを除く有職者)
- ◆調査期間 : 2015年6月27日～6月30日
- ◆調査方法 : インターネット調査(モバイルリサーチ)
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000名(各世代が概ね均等になるように抽出)
- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

回答者属性

◆性別
全体[n=2000]



◆年代
全体[n=2000]



NEWS LETTER(調査レポート)

本ニュースレターは報道関係の皆様に向けて発信する報道用の調査レポートとなります。
本ニュースレターに含まれる全ての情報や調査結果を、ネットエイジア株式会社の許可を得ることなく、広告宣伝や広報・PR 活動等のために無断で転用することを禁止します。

■報道関係の皆様へ■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「ネットエイジアリサーチ調べ」と付記のうえ
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■本調査に関するお問合せ窓口■

ネットエイジア株式会社 マーケティング事業本部 担当：吉田
TEL : 03-3552-8041
FAX : 03-3552-8042
E-mail : mobile-press@netasia.co.jp

■ネットエイジア株式会社 会社概要■

組織名 : ネットエイジア株式会社
代表者名 : 代表取締役 三清 慎一郎
設立 : 2005年2月
所在地 : 東京都中央区新川一丁目27番8号 新川大原ビル7階
資本金 : 3億1,552万円
主な業務内容 : ネットリサーチ事業
URL : <http://www.mobile-research.jp/>